

I ミニアチュア・インキュナブラ

15 世紀に作られた印刷本(インキュナブラ)のうち小型のものをミニアチュア・インキュナブラ(以下 MI)と呼ぶ¹⁾。インキュナブラの中でもサイズが小さいために、印刷や製本に高い技術が必要で、出版目的にも用途にも偏りが見られ、特定の対象読者を意識している物だと考えられる。本研究ではサイズの基準は筆者による先行研究²⁾と同じく、判型が 16 折版以下で、外側が 120mm×85mm 以下もしくは印刷面が 82 mm×56 mm 以下とした。

筆者による先行研究²⁾において、191 タイトルの MI とインキュナブラ全体との特徴を比較した際に、MI 印刷を手掛けていた業者は MI のみを作っていることはなく、様々な出版活動の一部として作っていることはわかっている。しかし、本論文では、MI の印刷か出版の少なくとも一方に関わっていた業者を、印刷者としては MI 印刷者と、出版者としては MI 出版者と呼ぶ。

インキュナブラの多くは印刷者が出版者を兼ねているため、本論文では印刷のみもしくは印刷と出版を手掛けている者を「印刷者」と、自ら印刷をせずに印刷者に資金を提供して印刷させている者を「出版者」とする。その両方をまとめて呼ぶときに「印刷・出版者」と呼ぶ。

II 研究の目的と方法

A. 研究の目的

本研究ではヴェネツィアでの MI 印刷・出版者の特徴を、それ以外のヴェネツィアの印刷・出版者と比較し、調査する。

ヴェネツィアはインキュナブラ全体の印刷タイトル数も、MI の印刷タイトル数も最も多い都市である。そして、単に印刷・出版された数が多いというだけでなく、活字の売買や出版と印刷の分業など、後には書籍ビジネスで一般的になる要素がいち早く導入された。そのため、ヴェネツィアでの MI の印刷・出版を調査することによって、インキュナブラ印刷・出版の中でも先進的な部分を知ることが出来る。

B. 研究方法

調査対象となるヴェネツィアの MI 印刷・出版者は筆者の先行研究²⁾によると 23 人である。そして、比較対象となるそれ以外のヴェネツィアの印刷・出版者は英国図書館の *Catalogue of books Printed in the XVth Century Now in the British Museum (BMC)*³⁾のうちヴェネツィアを含んでいる第 5 巻の目次を元に洗い出した。

*Incunabula Short Title Catalogue (ISTC)*⁴⁾を用いて、ヴェネツィアで活動していた印刷・出

版者の、MI 以外を含む全ての印刷・出版物のデータを抽出した。次に、そのデータをもとに印刷・出版者の開始時期、期間、点数、他の印刷・出版者との関わりについて整理した。

そして、MI 印刷・出版者とそれ以外の印刷・出版者を比較した。それに加えて、MI 印刷者が直接的な印刷・出版活動以外に関わり合っていたかを調べるため、MI 印刷者と MI を印刷していない主要な印刷者が、他の印刷者と活字を共有していたかをインキュナブラ活字データベース *Typenrepertorium der Wiegendrucke (TW)*⁵⁾を用いて調査した。更に、MI 印刷・出版者の技量を調べるため、高い印刷技術が必要とされている楽譜印刷・出版に関わっていたかを *Italian Music Incunabula*⁶⁾を元に調査した。最後に MI 印刷の伝播を追うため、文献^{3) 6) 7)}や名前から MI 印刷・出版者の国籍を調査した。

なお、今回の調査では印刷・出版者の特徴に焦点を当てたため、各印刷・出版者のヴェネツィア以外での活動も結果に含んでいる。さらに、共同印刷をした場合は各印刷者のデータに重複して計上しているため、単純に印刷者の結果を合計してもヴェネツィアの印刷総数とならない。

集計の際には、基本的に 1500 年以降の印刷・出版物も対象としたが、印刷・出版期間については 1500 年までを対象とした。これは、情報量を増やして調査を深めたいけれども、印刷・出版期間だけは 1500 年以降の印刷・出版物に関する網羅性の低い少数のデータで結果が大きくなるためである。

III 印刷・出版者の比較

今回の調査ではヴェネツィアの 168 人の印刷・出版者を調査した。MI 印刷・出版者は 23 人であり、そのうち印刷のみをしていた者が 15 人、印刷と出版をしていた者が 7 人、出版のみをしていたものが 1 人である。1501 年以降しか印刷をしていない Lucantonio Giunta は出版のみをしていると数えた。MI 印刷・出版をしていない者は 145 人で、そのうち印刷のみをしていた者は 125 人、印刷と出版をしていた者が 17 人、出版のみをしていた者が 3 人である。

A. 印刷者の比較

印刷の開始年(第 1 表)を比較すると、MI の印刷者は 1476 年から 85 年にかけて開始している者が多く、1496 年以降に開始した者がいない。そのため、MI の印刷には経験が必要で、印刷開始が遅かった印刷者には 15 世紀中に MI 印刷に必要な技術が備わらなかつたと考えられる。

印刷期間は第 2 表にまとめた。MI を印刷して

いない業者にごく短期間しか活動していない印刷者が多いため、短い年数は細かくしている。MI の印刷者の方が印刷期間は長く、みな5年以上の印刷をしている。つまり、安定して印刷事業に取り組んでいたと言える。

第1表 印刷の開始時期

開始時期	MI 印刷あり		MI 印刷なし	
	人数	比率	人数	比率
1465~1470	1	4.5%	4	2.8%
1471~1475	3	13.6%	27	19.0%
1476~1480	7	31.8%	35	24.6%
1481~1485	7	31.8%	17	12.0%
1486~1490	2	9.1%	21	14.8%
1491~1495	2	9.1%	25	17.6%
1496~1500	0	0.0%	13	9.2%
計	22	100.0%	142	100.0%

第2表 印刷期間

印刷年数	MI 印刷あり		MI 印刷なし	
	人数	比率	人数	比率
1	0	0.0%	33	23.2%
2	0	0.0%	19	13.4%
3~4	0	0.0%	21	14.8%
5~9	7	31.8%	28	19.7%
10~14	5	22.7%	19	13.4%
15~19	8	36.4%	6	4.2%
20~24	2	9.1%	13	9.2%
25~30	0	0.0%	3	2.1%
計	22	100.0%	142	100.0%

印刷タイトル数を比較したところ第3表のようになった。これも少数の部分の細かくしている。MI 印刷者の方が明らかに多く印刷している。MI 印刷者の大半が20タイトル以上を印刷しているのに対して、それ以外の印刷者のうち半数以上は9タイトル以下しか印刷していない。

第3表 印刷タイトル数

印刷タイトル数	MI 印刷あり		MI 印刷なし	
	人数	比率	人数	比率
1	0	0.0%	15	10.6%
2	0	0.0%	19	13.4%
3~4	1	4.5%	20	14.1%
5~9	0	0.0%	20	14.1%
10~19	1	4.5%	21	14.8%
20~49	9	40.9%	28	19.7%
50~99	8	36.4%	15	10.6%
100~199	3	13.6%	3	2.1%
200~299	0	0.0%	1	0.7%
計	22	100.0%	142	100.0%

特に100タイトル以上を印刷した7人のうち、3人がMI印刷者である。しかも、MIを印刷をしていない4人のうち、1人は16折版を印刷しており、1人は半数以上を他の都市で印刷した業者、残りの2人は姓が同じ上に印刷の9割以上をその2人の共同で行っているため、実質的に同一の印刷所だと言えるものである。その為、ヴェネツィアの大規模印刷業者の多くがMIを印刷していたと言える。

共同印刷をしている相手数(第4表)を比較した。ここでは印刷者Aがあるタイトルを印刷者Bとともに印刷し、別のタイトルを印刷者B、C、Dの3人とともに印刷した場合、印刷者Aの共同印刷者は2人と数えた。MI印刷者の方が多くの印刷者と共同作業をしている傾向がある。しかし、MI印刷者の方が印刷期間やタイトル数が多いことを考えると大きな差とは言えない。

第4表 共同印刷者数

共同印刷者数	MI 印刷あり		MI 印刷なし	
	人数	比率	人数	比率
0	7	31.8%	59	41.5%
1	5	22.7%	47	33.1%
2	6	27.3%	20	14.1%
3	0	0.0%	9	6.3%
4	2	9.1%	3	2.1%
5	1	4.5%	2	1.4%
6	1	4.5%	1	0.7%
7	0	0.0%	0	0.0%
8	0	0.0%	1	0.7%
計	22	100.0%	142	100.0%

B. 出版者の比較

出版者の活動開始時期(第5表)や活動期間(第6表)には大きな差は見当たらない。差があるのは出版タイトル数(第7表)である。ヴェネツィアで出版を大規模にしていた業者は全てMIに関わっていた。

第5表 出版の開始時期

開始時期	MI 出版あり		MI 出版なし	
	人数	比率	人数	比率
1465~1470	0	0.0%	0	0.0%
1471~1475	1	12.5%	1	5.0%
1476~1480	2	25.0%	4	20.0%
1481~1485	2	25.0%	5	25.0%
1486~1490	1	12.5%	3	15.0%
1491~1495	1	12.5%	3	15.0%
1496~1500	1	12.5%	4	20.0%
計	8	100.0%	20	100.0%

第6表 出版期間

出版年数	MI 出版あり		MI 出版なし	
	人数	比率	人数	比率
1	1	12.5%	9	45.0%
2	0	0.0%	3	15.0%
3~4	2	25.0%	1	5.0%
5~9	0	0.0%	3	15.0%
10~14	3	37.5%	1	5.0%
15~19	1	12.5%	2	10.0%
20~24	1	12.5%	1	5.0%
計	8	100.0%	20	100.0%

第7表 出版タイトル数

出版タイトル数	MI 出版あり		MI 出版なし	
	人数	比率	人数	比率
1	1	12.5%	9	45.0%
2	0	0.0%	6	30.0%
3~4	1	12.5%	4	20.0%
5~9	0	0.0%	1	5.0%
10~19	4	50.0%	0	0.0%
20~49	0	0.0%	0	0.0%
50~99	1	12.5%	0	0.0%
100~199	1	12.5%	0	0.0%
計	8	100.0%	20	100.0%

今回の調査で見つかったヴェネツィアの出版者数は28人、タイトル数は324タイトルだが、折田⁸⁾はISTCを用いて87人394タイトルを見つけている。この差はBMCとISTCのデータの差にあると考えられる。また、両研究で見つかった出版者数の差とタイトル数の差から、本研究で見つからないMIを出版していない出版者は小規模な出版活動をしていたと想定されるため、結論を覆すものではないと思われる。

C. それ以外の調査

次に、共同印刷や共同出版、印刷者と出版者の関係にあった相手がMI印刷・出版者かどうかを調査した。すると、MI印刷・出版者の相手として名前の挙がった業者は81人で、そのうち15人がMI印刷・出版者であった。一方、それ以外の印刷・出版者の相手として名前の挙がった業者は194人で、そのうち19人がMI印刷・出版者であった。MI印刷・出版者同士の方が名前の挙がる比率が高く、関係が深いと思われるので、更に複数のMI印刷・出版者が関わっているタイトルがどの程度あるか調べた。すると、MI印刷・出版者の関わっている全1433タイトル中複数のMI印刷・出版者が関わっていたのは252タイトルで18%に当たり、MI印刷・出版者同士の関係が深いという考えを補強できた。

活字の共有に関する調査では、MIの印刷者が

使用した活字、ガイドレター、頭文字は合計688種で、他の印刷者の活字と同一、あるいは類似していると指摘は延べ58件あり、そのうちMIの印刷者の名を挙げているのは21件である。一方、MI印刷を手掛けていないが50タイトル以上を印刷した19人について調査したところ、812種の活字を用いており、他の印刷者の活字と同一や類似の指摘は延べ65件であり、そのうちMIの印刷者の名を挙げているのは16件であった。他の業者の活字との関係についての記録が少ないため確実性を欠くが、MI印刷者同士で活字を共有することの方が多くようだ。

MIの印刷・出版者のうち、楽譜の印刷・出版をしている者は15人である。楽譜の印刷・出版をしている者がヴェネツィアに40人しかいないことを考えると、MIと楽譜の印刷は大きく重複しており、MI印刷者は技術が高いといえる。

MIの印刷・出版者の出身地は、イタリアが12人、ドイツが5人、その他の国が6人となっている。折田によると、イタリア全体の印刷者の出身地は、イタリアが12%、ドイツが19%、その他の国が8%、不明が61%だが、活動が長期で印刷数の多い者はイタリア人が多い⁸⁾。MI印刷者は活動が長期で印刷数が多いため、イタリア人が多いことは折田の指摘と一致している。

IV 特徴的な印刷者

MIの印刷者の中で、他の印刷者や出版者との関わり方の特徴的な事例を掘り下げた。1人は複数の印刷者との共同印刷をたびたびしており、後に他の印刷者に依頼する出版者もしているAndrea Torresaniであり、もう1人は単独での印刷が多く、多くの印刷者から仕事を請けて印刷しているJohann Hammanである。印刷・出版物の内容・サイズと、他の印刷者や出版者との関わりについて深く調査した。内容の区分などは先行研究⁹⁾を元にした。

A. Andrea Torresani

Torresaniはイタリア出身で1479年に活動を始め、1500年以降も活動をしていた。146タイトルを印刷し、そのうち8折版が29タイトル、16折版以下が8タイトルである。

印刷物の内容はキリスト教が56タイトル、文学が11タイトル、法学が67タイトル、哲学と科学が5タイトル、俗語によるものが7タイトルである。内容によってサイズが異なり、キリスト教に関する物は小さいものが多く、MIも全て含まれている。ヴェネツィアの他の印刷者と比べて多い法学に関する物は60タイトルが2折版でMIはなかった。

5人の印刷者と共同印刷しており、最大では4人で印刷した例がある。共同印刷した29タイト

ルのうち28タイトルには Bartolomeo de Blavisi Alessandria(MIを2タイトル印刷)が参加している。MIは単独か Blavisi と2人だけで印刷していた。2人のMI印刷者を含む5組6人の出版者から仕事の依頼を受け、9タイトル(のうち2タイトルはMI)を印刷している。

1491年以降には5人の印刷者に19タイトルの印刷を依頼している。その印刷者のうち2人はMI印刷者だが、依頼内容にMIはなかった。

TorresaniはAldo Manuzio(MIを2タイトル印刷)と姻戚関係にあり¹⁰⁾、Nicolas Jenson(MIを4タイトル印刷、2タイトル出版)と師弟関係にある⁹⁾など、目録からは見えない関係もある。

B. Johann Hamman

Hammanは南ドイツ出身で1482年に1タイトル印刷をしたのち、しばらく名前が見えなくなるが、1486年から活発に印刷を始め、1500年にもまだ活動をしていた。94タイトルを印刷し、そのうち8折版が35タイトル、16折版以下が11タイトルである。

印刷物の内容はキリスト教が63タイトル、文学が2タイトル、法学が5タイトル、哲学と科学が16タイトル、俗語によるものが8タイトル、である。イスラム圏のものも含む自然科学に関する印刷物が多いことが特徴的だが、いずれも4折版以上の大きさである。6タイトルあるMIは全てキリスト教に関する物である。更に5タイトルのサイズがMIの基準をやや上回る16折版もキリスト教に関する物であった。

共同印刷はほとんどせず、Johann Emerich(MIを12タイトル印刷)ら2名と3タイトルを印刷したのみであるが、Emerichらと木版を共有していたことも先行研究でわかっている¹¹⁾。その一方でOttaviano Scoto(MIを1タイトル印刷)をはじめとした13組14名の出版者から32タイトルもの印刷を請け負っている。MIの印刷を依頼されたことはなかったが、少し大きめの16折版の印刷依頼は複数回受けていた。印刷を依頼している出版者のうち3名はTorresaniをはじめMI印刷を自ら手掛けた事のある業者であった。TorresaniもMI印刷者のJensenから印刷を請け負っていたことを考えると、先輩のMI印刷者が出版者として若いMI印刷者に仕事を依頼するつながりがあったと言える。

C. Torresani, Hamman, Emerichの比較

Torresani, Hammanと筆者の先行研究¹²⁾で調査したEmerichを比較した。EmerichはGiunta(MIを6タイトル出版)という特定の出版者と組んで多くの印刷を手掛けており、キリスト教に関する物が印刷物の1点を除く全てを占めている。つまり、他の印刷者・出版者との関係や、印刷物の内容は異なる。

一方、全員に共通しているのはMIを5点以上印刷している点、楽譜印刷をしている点、彼らに印刷を依頼した出版者にMIの印刷者が含まれていることである。そして、MIはラテン語によるキリスト教のものに限られていた。

V 結論

本研究の結果、MIの印刷・出版者は印刷・出版業で成功していたとわかった。印刷期間が長く、楽譜を印刷できる高い技術があり、MIの小さな版面を組むのにも技術が必要だったという考えを裏付けることが出来る。そして、互いに共同作業をしていることから、緩やかなつながりがあったのではないかと考えられる。特にJensenからTorresaniへ、TorresaniからHammanへというMI印刷者が出版者として仕事を依頼する流れは注目すべきである。

各MI印刷者の印刷物の内容や他の印刷・出版者との関わり方は様々である。にもかかわらず、MIに関しては内容が似通っているという点はMIの用途や性質を示している。

引用文献

1. McMurtrie, Douglas C. *Miniature Incunabula. The News Letters of the LXIVMOS*. 1929, Vol. 19, P.5-11
2. 西川和. “ミニアチュミニア・インキュナブラの出版傾向”. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 2014年度. 東京, 2014-10-26, 三田図書館・情報学会, 2014, p.13-16.
3. British Museum. *Catalogue of Books Printed in The XVth Century Now in the British Museum*, Trustees of the British Museum, 1962-, 13vol.
4. The British Library Board. *Incunabula Short Title Catalogue (ISTC)*. <http://www.bl.uk/catalogues/istc/index.html>(参照 2016-10-07)
5. Staatsbibliothek zu Berlin. *Typenrepertorium der Wiegendrucke*. <http://tw.staatsbibliothek-berlin.de/html/index.xml>(参照 2016-10-07)
6. Duggan, Mary Kay. *Italian Music Incunabula: Printers and Type*. University of California Press, [1992?], 323p.
7. Ghisalberty, Alberto M. *Dizionario Biografico degli Italiani*. <http://www.treccani.it/biografie/>(参照 2016-10-07)
8. 折田洋晴. *イタリアのインキュナブラ印刷者たちの生態学(2)*. イタリア図書, 2006, Vol.35, p.48-54.
9. Gerulaitis, Leonardas Vytautas. *Printing and Publishing in Fifteenth-Century Venice*. American Library Association, 1976, 190p.
10. Lowry, Martin. *The World of Aldus Manutius: Business and Scholarship in Renaissance Venice*. B. Blackwell, [1979], 350p.
11. Piazza, Clementina. “Digital resources for the study of incunabula: Johannes Hamman's illustrated editions of Horae: ad usum Romanum”. *El Pasado Ajeno: Estudios En Honor y Recuerdo de Jaime Moll*. Academia de Cronistas de Ciudades de Andalucía, 2012, p.21-p.37.
12. 西川和. “Johann Emerichのミニアチュミニア・インキュナブラ出版”. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 2015年度. 東京, 2015-11-14, 三田図書館・情報学会, 2015, p.13-16.